

『改訂新版 放射線機器学( I ) 診療画像機器』第6刷、第7刷(正誤表)

このたびは本書をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書発行後のJIS Z 4752-3-5の改正に伴い、下記の箇所につきまして内容が変更となりました。ご確認よろしくお願いたします。

頁	箇所	改正前	改正後
15	上から10行目	診断用X線装置の構成を図1.21に示す。診断用X線装置は、…	X線システム(X線装置)の構成を図1.21に示す。X線システムは、…
	下から12～11行目	…の規格は、JIS T 0601-1:2012(医用電気… …事項), JIS T 0601-1-3:2012(副通則:…	…の規格は、JIS T 0601-1(医用電気… …事項), JIS T 0601-1-3(副通則:…
17	図1.21 (図中文字および 図タイトル)	… — X線発生装置 — … … — X線機械装置 — … ├ X線撮影台 ├ 保持装置 └ コンピュータ断層撮影用架台および寝台 … — X線映像装置 — … ├ X線間接撮影用ミラーカメラ装置 └ X線テレビジョン装置 … — X線画像処理装置 — デジタル撮影(DR)装置 └ デジタル透視(DF)装置  図1.21 診断用X線装置の構成 <sup>9)</sup>	… — X線発生装置* — … … — X線機械装置 — … ├ X線撮影台(患者台) └ 保持装置(X線管支持器) … — X線映像装置 — … ├ X線テレビジョン装置 ├ X線平面検出器 └ コンピュータドットラジオグラフ … — X線画像処理装置 — デジタル撮影(DR)装置 └ デジタル透視(DF)装置  * 照射野限定器を備えた一体形X線発生装置を含める。  図1.21 X線システムの構成 <sup>12)</sup>
	下から2行目	…の誤差は10%を超えてはならない。	…の誤差は8%を超えてはならない。
22	上から3行目	…最短照射時間。…	…最短負荷時間。…
191	表8.4 適用基準(対基礎値)の 試験項目②の行	5個の鉄球の内2個以上を描出	5個の鉄球の内2個以上を描出(S/F,CR), 2.5個以上を描出(FPD)
	表8.4 適用基準(対基礎値)の 試験項目③の行	圧迫力 ±10 N以内 表示機能の表示値 ±10 N以内 電動の初期圧迫 ±20%以内	圧迫圧の表示精度 ±20 N以内(ただし±10 N以内が望ましい) 圧迫厚の表示精度 圧迫圧100～120 Nのとき、±5 mm以内 圧迫圧の持続性 1分間で-10 N
206	表9.10 (管電圧の許容差の規格)	±10%以内(※乳房用X線装置:±5%以内)	±8%以内(※乳房用X線装置:±5%以内)
232	10.8.3項 1行目	…がある。現在、X線CT装置の日常試験は、JIS Z 4752-2-6(IEC 60601-2-6)不変性試験-医用X線CT装置で規定されている。	…がある。従来、X線CT装置の日常試験は、JIS Z 4752-2-6の不変性試験-医用X線CT装置で規定されていたが、現在はJIS Z 4752-3-5の受入試験及び不変性試験-X線CT装置として規定されている。
	10.8.3項 5行目	X線CT装置の不変性試験に関する各試験項目と試験頻度について表 10.3に示す。	X線CT装置の受入試験と不変性試験に関する各試験項目、受入基準、不変性基準、試験頻度については表10.3に示す。
	表10.3	(省略)	(別記)

頁	箇所	改正前	改正後
246	最下行	⑤ 幾何学的ひずみ(実寸法に対する画像上の測定寸法と実寸法の差の割合)	⑤ 幾何学的ひずみ(実寸法に対する画像上の測定寸法と実寸法の差の割合) ⑥ ゴースト(ゴースト信号の振幅と平均信号の振幅およびシステムノイズレベルと比較)
274 278	1.総論 12) 9.診断用X線装置の管理	JIS Z 4751-2-54:2012 撮影・透視用X線装置—基礎安全及び基本性能	JIS Z 4751-2-54:2021 撮影・透視用X線装置の基礎安全及び基本性能に関する個別要求事項

⑥⑦

(別記)

表10.3 X線CT装置の受入試験及び不変性試験(JIS Z 4752-3-5:2021医用画像部門における品質維持の評価及び日常試験方法—第3-5部:受入試験及び不変性試験—X線CT装置/IEC61223-3-5:2019)

項目	受入試験	不変性試験	
	受入基準	不変性基準	頻度
患者支持器(天板)の位置決め	±1 mm	受入試験と同じ基準	1年に1回
アキシャル面の患者位置決め精度	±2 mm		
アキシャルスキャンの再構成スライス厚	1 mm スライス未満: ±0.5 mm 1 mm ~ 2 mm スライス: ±50 % 2 mmスライス以上: ±1.0 mm		
線量	公称値と比較:CTDI <sub>w</sub> およびCTDI <sub>free air</sub> については, 附属文書による。 表示値および附属文書と比較:CTDI <sub>vol</sub> は, 代表的な成人頭部および体幹部プロトコルならびに代表的な小児頭部及び体幹部プロトコルについて, ±20%または±1 mGyのいずれか大きい値。 他の試験条件については附属文書による。	基礎値と比較:CTDI <sub>w</sub> およびCTDI <sub>free air</sub> は, 代表的な成人頭部および体幹部プロトコルならびに代表的な小児頭部および体幹部プロトコルについて, ±20 %または±1 mGyのいずれか大きい値。 表示値および附属文書と比較:CTDI <sub>vol</sub> は, 受入試験の基準を適用	1年に1回 または主要な保守作業後
平均 CT 値	成人頭部, 小児頭部および小児体幹部は, ±4 HU。成人体幹部ならびに選択可能な管電圧での成人体幹部および小児体幹部は, ±6 HU。	成人頭部, 小児頭部および小児体幹部は, 基礎値から±5 HU。成人体幹部ならびに選択可能な管電圧での成人体幹部および小児体幹部は, 基礎値から±7 HU。	1年に1回
ノイズの大きさ	すべての試験項目については, 公称値の±最大(15%, 0.75 HU)	成人頭部, 成人体幹部, 小児頭部および小児体幹部は, 基礎値の±最大(10%, 0.5 HU)	
均一性	成人頭部, 小児体幹部および小児頭部は, 4 HU以下 成人体幹部並びに選択可能な管電圧での成人体幹部および小児体幹部は, 8 HU以下	成人頭部, 小児体幹部および小児頭部は, 4 HU以下(小ファントム)。 成人体幹部については, 8 HU以下(大ファントム)	
空間分解能(高コントラスト)	附属文書による。	MTFの10%および50%は, それぞれの基礎値の±0.75 lp/cmまたは±15%のいずれか大きいほうの値以内	